

広島アニマルケア専門学校

2021 年度

外部評価委員会 議事録

2022.3.28 国泰寺校舎 5階 会議室

日時	令和4年3月28日13時30分～	
場所	広島アニマルケア専門学校 国泰寺校舎5階	
出席者	校長	松本修
	副校長	松隈宗裕
	事務長	片山誠
	法人本部職員	中塚智紀
	業界関係者	藤本恭平(ハーバー動物病院)
	業界関係者	高木宏樹(有限会社ターク)
	卒業生	大田祐翼(有限会社ターク)
	高等学校	高橋辰夫(並木学院高等学校)
	書記・記録	上杉誠・西森将浩
会議内容		
発言者	発言内容	
校長挨拶		
松本	<p>ありがとうございます。外部委員受けていただきありがとうございます。</p> <p>本校20年目を迎える。今後人口減少傾向にあり、ニーズにあった学校運営が必要と感じている。各立場よりいろいろとご意見をいただきたい。これを通じて各種実践課程申請につなげていきたい。</p>	
1、自己紹介		
	藤本恭平(ハーバー動物病院) 高木宏樹(有限会社ターク) 大田祐翼(有限会社ターク) 高橋辰夫(並木学院高等学校) 順に挨拶	
2、委員会規定		
校長	委員会規定について読み上げ説明する。これに対し異論なし。	
3、委員会規定		
松本	委員長については松本修校長、副委員長については松隈宗裕を選任する。	
4、在学生等の状況		
松本	人数毎年増加している過去最高続けている。看護が定員超えたため募集停止。理由として愛玩動物看護師の誕生が大きい。退学者については、様々あるが中には思った学校ではなかったという理由があるので重く受け止めたい。コース説明5コース各人数については資料のとおり。	
片山	多いときは20名時もあったが最近では減少傾向にある。今後も教員がしっかり対応していきたい。	
松隈	この会では、愛玩動物看護師申請に向けた取り組みでもある。令和5年国家試験行われる。2年制では受験できないため3年制になる。定員も50に増員する。	
藤本	設備としてレントゲンは入れる予定か？(ない)実際に使ってみないとレントゲンは使えない。教えていくうえでも物がないと理解しづらいところがある。	
5、卒業生の状況について		
松本	資料2参照	

	就職率 83.5 パーセント 求人は学生 1 人あたり 3 社ある。全国平均から見ると多い水準である。
高木	先々心配。生態販売禁止の方向の中、そこを中心としている業者からの求人は厳しくなっていくことが予測される。ミスターマックス 2 年後に生態販売禁止する。美容は残るが飼育するスタッフは不要になってくる。予測しないとその部分の就職率は低下する。事前に求人枠を確保するよう業者に手を持つ必要があるのではないか。動物愛護団体 (NPO) に広げることも必要では。
松本	今後の状況変化に過敏になる必要がある。
6、2022 年度入学生	
松本	既に承認済み
7、自己点検、自己評価内容等について	
松本	理容・美容について 3. 7~8 と少し引く、このことを各コースに周知してある。
8、保護者アンケート	
松本	低い評価、情報提供について今後、HPからの発信することを検討する。そのた参観日や説明会等を実施していくことを検討している。
9、教職員評価について	
松本	常勤、非常勤共通。課題改善に同様に頑張っている学生に対応が異なる場合がある。これについては教職員の情報共有を強化していく (定期職員会議など) 相談窓口については検討材料として残していく。個々のケアが必要なケースも多くなってきている。
高橋	スクールカウンセラーについて、1 回 / 2 週間外部から来てもらっている。 教職員・保護者・生徒・完全予約制で実施。現在予約がいっぱいである。保護者からの相談の割合が多い。生徒に押し付けるわけではないが相談を促し、その結果、教員、養護教諭とカウンセラーとの連携がうまくできて、早い対応ができています。内容によっては時間がかかるものもあるが、その部分に目を向けている。職員も 1 名受けた実績がある。カウンセラーは並木福山と連携しながら探した。
高木	今の時代必要だろう。昔はほったらかしであったが、今ないことは GR の評価に影響あるかもしれない。
大田	GR は 1 年次にセンスの差で大きく差ができてしまうことがある。その影響があるのでは。個別指導も場合によっては必要になるのではないか。
高木	技術系の指導をしてくれる強い先生を定期的に来てもらって、学校の先生には相談しやすく説得力もあるのではないか。
10、2022 年度目標設定	
松隈	これまでの内容を踏まえて、これまで新しいものを考えながら学校運営を行ってきた。コースも増やしてきたが、逆に閉鎖するコースもある (専攻科・看護 2 年課程) 非常勤講師の増員、実習施設の整備を十分にしながら行っている (今後 2, 3 年の設定として)
松本	看護の養成所の指定をとることが大切。今後準備が必要。それに伴ったハード面ソフト面の整備を行っていく。先ほどの意見にあった指導者の充実を目標として考えていきたい。
高木	学校評価上げることも大切だが、学生視線・保護者視線が異なる。動物業界で聞く人材について、店に就職する生徒は GR よくわかっているけど売るといふマネジメントを知らない。トリミングだけではなく販売の知識が必要。JB はビジネス強いので授業で学ぶことができる。そこがアニマルとの差である。また、最近の学生は、フード (プレミアムと普通との差がわからない)。就職したときに 1 から教えないといけなくなる。それがいいことは大きい。可能であれば経営分野の授業があった方がよい。
藤本	動物病院でも、レジ打ちができない人がいる。アニコム保険のパーセンテージの計算が理解できていない。という話を聞いたことがある。

松隈	過去にそのような授業をしようかと検討したことがある。小学中学レベルの内容を含める。
松本	<p>接遇・ビジネスマナーに加えて、商売の内容もカリキュラムに入れていく方向で検討していきたい。</p> <p>1養成所指定(看護)</p> <p>2スクールカウンセラーの設置</p> <p>3技術系の補修の検討</p> <p>4ビジネス(売買・経営)の授業を取り入れる</p> <p>以上のことを今後検討していく。</p>
11 外部評価委員会	
松本	<p>今後においても、年1回以上実施していく。</p> <p>アンケート、内部委員会、外部委員会の順ですすめていく。</p>